

きらり いわた 人

昆虫をこよなく愛する
「こんちゅうクン」こと

北野 伸雄さん

1985年生まれ
浜松市出身、市内在住。
大学時代の研究テーマは、カミムシの卵に
卵を産み付ける寄生蜂について。
毎週金曜日放送SBSラジオ「磐田情報局」
(12ページ参照)内で不定期に出演中。



今 地域メディアで話題沸騰中なのが、竜洋昆虫自然観察公園です。今回のきらりいわた人は、そんな竜洋昆虫自然観察公園スタッフで昆虫をこよなく愛する「こんちゅうクン」こと北野伸雄さんです。

こんちゅうクンの反響はありますか？

すごく大きいです。「こんちゅうクン いますか？」と聞かれたり、「(テレビや新聞を)見ましたよ」と声を掛けていただいたりすることが増えました。一緒に記念撮影やサインをお願いされることもあって驚いています。

昆虫を好きになっただけですか？

特に覚えているのは、小学校6年生の時の理科の先生です。昆虫や植物、岩石、どんぐり、星座など自然にとっても詳しい先生だったので、虫を捕まえてはその先生に聞きに行くのが習慣でした。

どうして昆虫公園で働くことに？

高校生の時に「将来、昆虫に関わる仕事に就けたら一生幸せだな」と思い、昆虫学研究室のある大学に進学しました。卒業後は昆虫と全く関係ない仕事をしていましたが、やはり昆虫の仕事がしたくて、昆虫公園の求人に応募しました。

昆虫の魅力は？

僕にとって昆虫の一番の魅力は、身近であることです。道端にライオンやイ

ルカはいませんが、カマキリやアゲハチ、ヨウには、いつだって出会うチャンスがあります。ちょっと目を向ければ、いつでもどこにでも昆虫がいて、日常の景色が変わって見えるのが楽しいですね。

今、気になることは？

昆虫食です。「セミ会」というイベントに参加して、初めてセミを食べました。たとえ虫好きでも虫を食べることに抵抗がありました。実際食べてみたら意外とおいしくてびっくり。「これからの時代は昆虫食だ」と思いましたね。

今まで食べた中では、カミキリムシの幼虫、セミ、トノサマバッタがおいしかったです。皆さんに食べていただく昆虫食イベントも考えていますよ。

これからの目標は？

動物園や水族館に負けないぐらい昆虫館という施設が人気になって、市民の皆さんが誇りに思えるような場所になれたらと思っています。来てくれる子どもたちの中から、いつか本物の昆虫博士が生まれてくれればうれしいです。

磐田の子どもたちに一言

磐田は海、川、山などいろいろな環境があつて、とても自然が豊かな場所です。自宅や公園、学校などの身近な場所です。「何かいないかな」と目を凝らして見て、その辺にいる虫の面白さをぜひ知ってほしいです。